

関係各位

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます

さて、昨今の弊社を取り巻く環境は、世界的な景気回復の遅れと中央卸売市場の取り扱い高の減少により、大変厳しい状況が続いております。

こうした状況の中で、この度、新たな経営理念に基づく3つの経営目標を掲げ、平成25年度を最終年度とする第二次中期経営計画を策定いたしました。

今後、従業員一同本計画達成のため全力を傾注し、もって、中央卸売市場の生鮮食料品をはじめとする食品全般の安定流通の役割を果たし、引き続き消費者の皆様方の食生活の「安全・安心」のため、取り組んでまいる所存であります。

今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

平成22年11月19日

代表取締役社長 市原正博

## 第二次中期経営計画の概要

### 1. 経営の基本

第二次中期経営計画は以下の経営理念と経営目標に基づいて策定しました。

#### (1) 経営理念

横浜市中心卸売市場の生鮮食料品をはじめ、冷蔵・冷凍食品の低温物流の担い手として、横浜市民の安全・安心で豊かな食生活を支え、社会の発展に貢献する。

#### (2) 経営目標

- ① 環境の変化に対応した事業運営に取り組み、顧客から信頼される経営を目指す。
- ② 持続性のある経営改革に取り組み、経営の自主的・自立的な安定運営を目指す。
- ③ 従業員の意識改革を進めて、経営課題に迅速に対応できる人材を育成する。

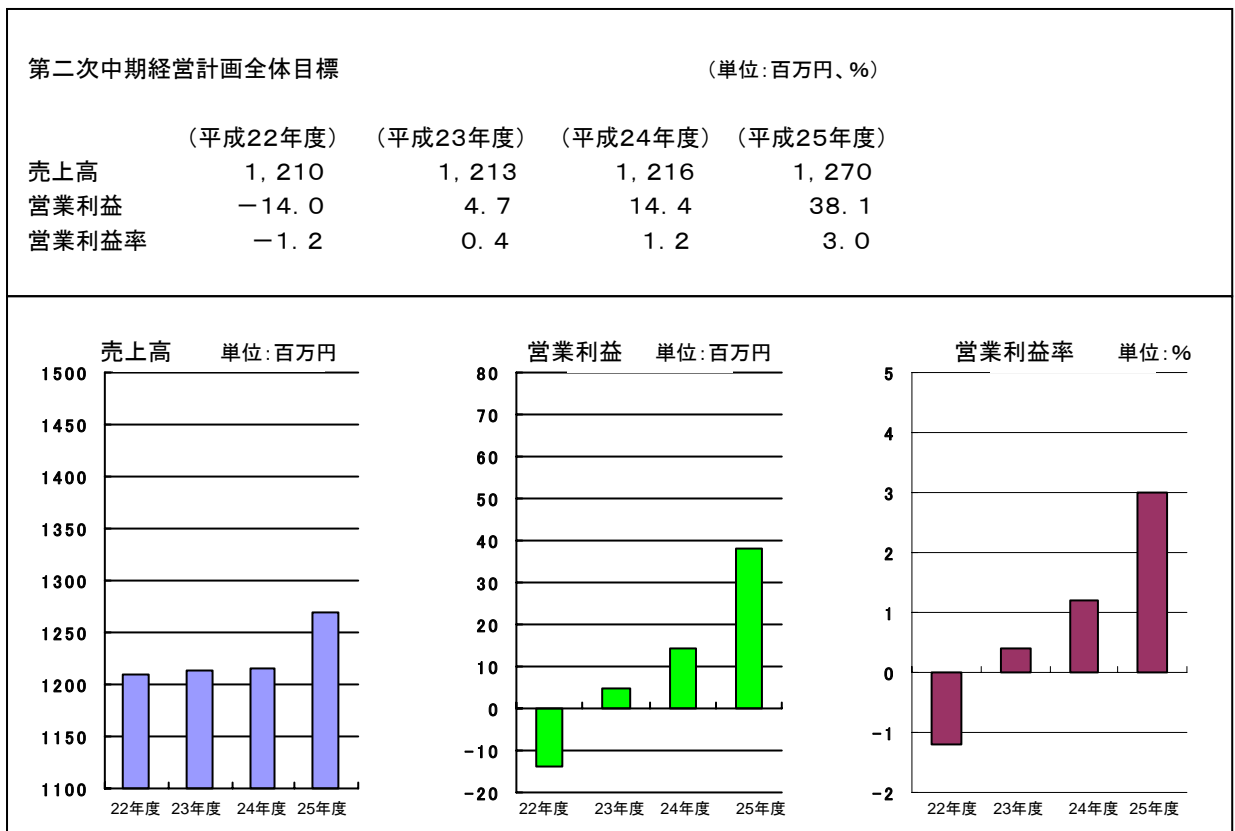
### 2. 経営の課題

会社を取り巻く環境と経営資源の現状から抽出した課題を克服して、経営の安定化を図ります。

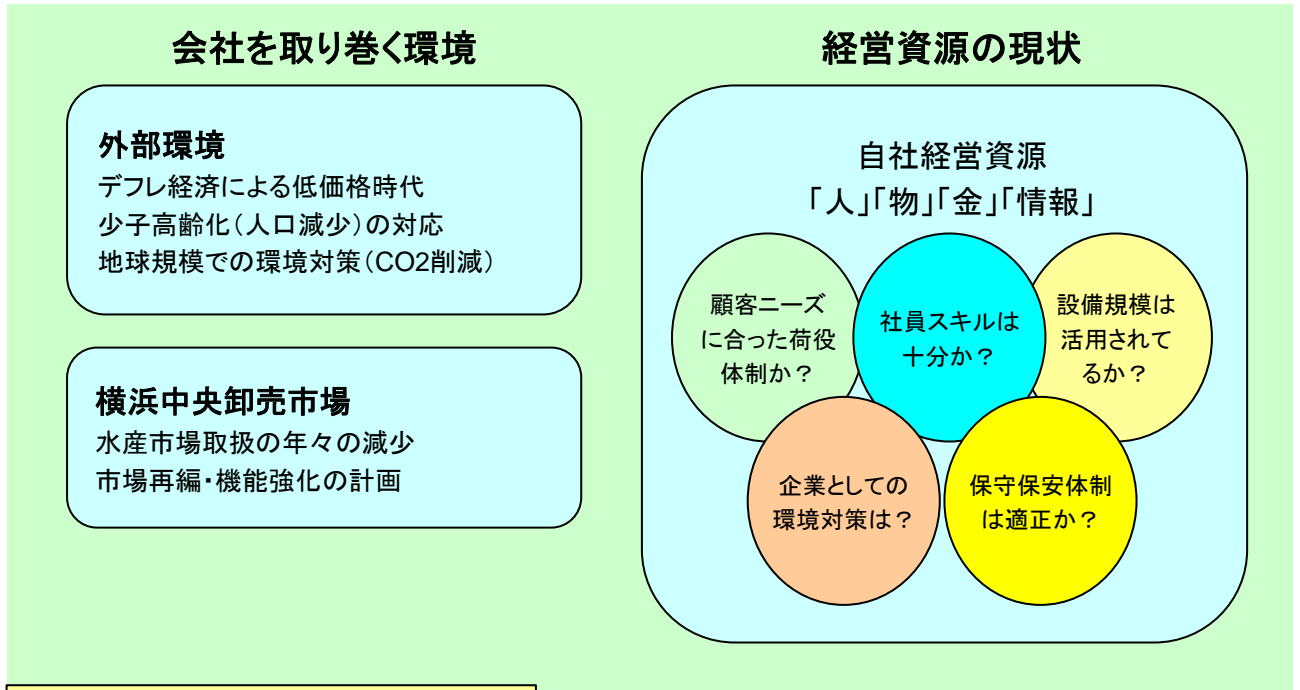
(→次ページのイメージ図を参考にしてください)

### 3. 全体の最終目標と年度別達成水準

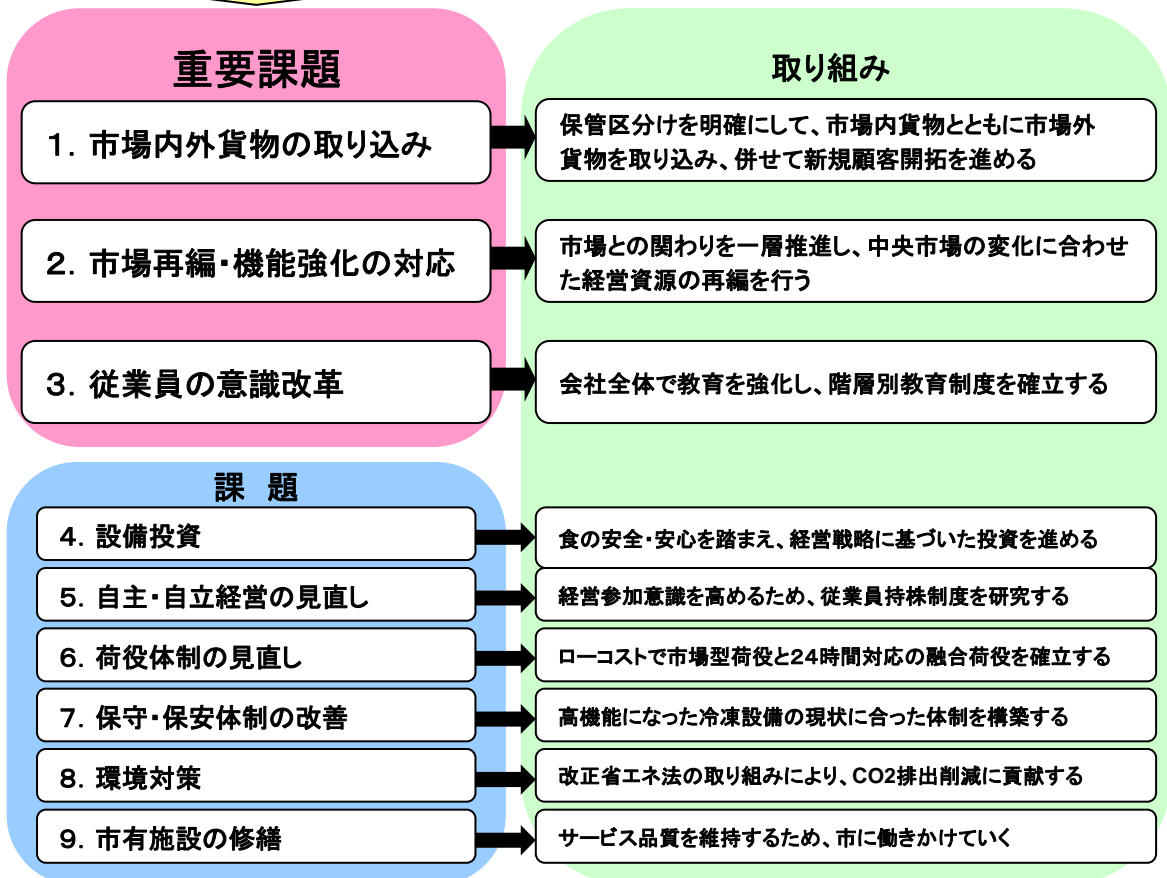
最終年度の営業利益率3%の確保を方針として、最終目標と年度別達成水準は下表のとおりです



# 経営課題と取り組み



経営安定化の為に取り組むべき課題



各取り組みにより経営の安定化を図る

## 参考

### 前中期経営計画の実績

(単位:百万円、%)

	(平成19年度)		(平成20年度)		(平成21年度)	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績
売上高	1,694	1,885(133%)	1,687	1,547(92%)	1,699	1,312(77%)
営業利益	60	80(133%)	67	28(42%)	67	20(30%)
営業利益率	3.5	4.3(123%)	4.0	1.8(45%)	4.0	1.6(38%)